

グループ 3 の検討の進捗について

グループ 3 の進捗状況について下記の通り報告いたします。

1 . Group3 打合せ実績と内容

- | | |
|---------|---|
| 第二回 打合せ | 平成 27 年 10 月 13 日(火) 10:00-12:30
燃料 RM 検討WG のコメントを反映し内容を確認した。
Gr.1 からの提案案件につき、課題票に反映できるかを確認。
課題票に関するローリングと討議 |
| 第三回 打合せ | 平成 27 年 11 月 09 日(月) 10:00-12:30
第 2 回 SUB-WG 宿題事項の確認
課題票に関するローリングと討議 |
| 第四回 打合せ | 平成 28 年 1 月 12 日(火) 13:00-17:00
課題票に関するローリングと討議 |

3 . 現在の状況と成果

- ・「炉心・熱水力設計評価技術の高度化」課題票
- ・「プラント運用技術、炉心設計管理の高度化」課題票
- ・「運転性能の高度化」課題票

下記項目について、ローリングと討議を行い、見直しが行われた。

具体的な項目

課題として取り上げた根拠（問題点の所在）

現状分析

期待される効果（成果の反映先）

[実施機関 / 資金担当 < 考え方 >] について検討中

基礎基盤における実施機関 / 資金担当 < 考え方 > について岡崎委員の案を下記に示す。

資金担当は実施主体となることが適当であるが、実験などで大きな資金を必要とする共通基盤研究や有力な要素技術開発、また、成果を原子力事業のみならず幅広く展開できる基盤研究については、行政（資源エネルギー庁・文科省など）による手当てが適当である。

また、岡崎委員より下記の提言がありました。

今回、昨年のロードマップ作成における「実施機関 / 資金担当 < 考え方 >」を振り返ったところ、昨年 4 月に時間が無い中で、事務局(MRI)より各作業部会に、以下のお願いをしていたとのこと。

今回の見直しで特に留意する点は、公開を前提しての表現上の問題がないかということ、ならびに「実施機関 / 資金担当 < 考え方 >」の記載を充実することに注力ください。

「実施機関 / 資金担当 < 考え方 >」の記載の拡充に際しては、課題をブレイクダウンして、「実施機関 / 資金担当」の組み合わせがクリアになる様、記載を行ってください。

実施の流れの図中にも、ブレイクダウンした課題を記載し、それに対して、「実施機関 / 資金担当」を明記してください。

上記を踏まえて、[実施機関 / 資金担当 < 考え方 >] を検討する事になる。